

■その他ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

調査票の巻末の自由記述欄に記入されたご意見などを、調査票の種類ごとに主題（テーマ）別に分類しています。記述内容を一部、修正している場合があります。

## 1 身体障がいのある方

### (1) 介助者への支援について

<主な意見>

- ・在宅生活 22 年の生活全般すべての介護を必要とする障害者である主人が、今まで利用していた入浴事業所から突然契約解除の通知を受け、以後、主人は入浴できず、突然の出来事に本当に困っている。ケアマネジャーが色々と事業所を探しているが、仲々困難とのこと。よって、妻が毎日お世話をしているが、加齢による疲れが目立ってきている。一日でも早くお風呂に入れてあげたい。

### (2) 交通やバリアフリー、移動支援について

<主な意見>

- ・小平駅の階段の段差が分かりにくい。目印を分かりやすくしてほしい。バスの行き先の音声案内をしてほしい。
- ・歩道の段差が高い。
- ・小平駅バス停の段差に分かりやすいペイントをしてほしい。(段差が分かりづらく困っている。)
- ・未だに段差の列が多い。横断歩道が渡りづらい。交通機関に対して、なぜ女性専用車両があるのに障がい者車両はないのか。優先席に健常者が座っており、席を譲ってくれない（スマホ、寝たふり）。バスも同じ。
- ・一人での移動時、電動車椅子を利用しているが、歩道の状態が悪く、通れない場所が多くある。歩道の傾斜が強すぎて渡れない横断歩道や、劣化で穴のあいたコンクリートも多く、自転車とすれ違う際に危ないことがある。ふるベー号やタクシーは電動車椅子が乗れず、福祉タクシーや公共バスは午後 10 時以降ほとんど利用できないため、仕事後の通院で帰りが遅くなると徒歩での帰宅になり、より道が危険に感じる。道路の改修、交通手段の充実化を検討してほしい。
- ・通所 2ヶ所に通い送迎が必要だが、家の前、近辺の道が狭いため、バスではなくワゴン車があると助かる。
- ・車椅子を使っている。歩道と車道の間など段差が多く疲れる。(花小金井駅近くのスーパーのある通りの 2ヶ所の信号、段差が大きい)。踏切の段差も辛い。
- ・現在介助、支援を受けていないが、外出（病院等）する時は自動車を自分で運転している。遠方への運転や駐車場の確保が難しく、外出が減っている。

- ・足に障害があるが、まだ1人で頑張っている。夫に手助けを時々してもらっている。今は自分で車の運転もするが、あと数年で免許の返納を考えている。花小金井駅を利用しているので、健康センターや市役所等には不便である。なんとかコミュニティバスを通してほしい。
- ・市内道路の段差（急なスロープ、側溝の網目の太さ）。市内公共施設の障がい者（車椅子用）駐車場の少なさ、狭さ。
- ・理学療法士の監督、アドバイスなし（と思われる）道路、施設の設定。
- ・ある程度の差別はしかたがないが、JR線など（健常者が）優先席に座っている。そうであるならば料金を半額にしてほしい。そうすれば何の文句も言えないだろう。イギリス、フランスはもう実行している。JRなどの割引はあるが、日常生活に必要なのはそんなところではないのか。そうすれば、もう少し障がい者と健常者が関わることも多くなると思う。
- ・歩道の道幅を広く取ってほしい（自転車と対面すると通れなくなる）。
- ・視覚障害2級（白杖未使用）の者としては、歩道上にある自転車や店先の商品台等々、常に不安（ぶつかる、転ぶ）を抱えながら通っている。可能な限りでの改善をお願いしたい。
- ・コミュニティバス等が公共施設等に乗り入れできると大変助かる。
- ・単独で行動範囲が限られるため非常に不便。車椅子での生活しかできず残念。

### （3）施設等の入所や利用について

#### <主な意見>

- ・現在グループホームを利用しているが、看取りまでグループホームで引き受けるという体制を作ってほしい。

### （4）就労について

#### <主な意見>

- ・企業における障害者雇用の間口をもっと広げて欲しい。特に障がいに合わせて、より添った仕事内容を考えて、正社員の道を開いてほしい。

### （5）福祉サービス等の利用について

#### <主な意見>

- ・小平市心身障害者福祉手当やタクシーチケットは大変ありがたい。
- ・通院している病院が遠いため、タクシー券は大変ありがたい。
- ・障がい者が受けるデイケアの期間をエンドレスで対応できれば助かる。
- ・夫が心原性脳塞栓病で左前頭葉言語障害となり、ウォーキングポールを使って言語訓練に通院したが、コロナ注射を2回打ち、足、腰が不自由になり、要介護1から4になり、おむつ生活になり、週2回のデイサービスに出掛けている。夫の外出日に私の予定を入れ、また、ほっとする時間でもある。老老介護生活を送っている。

## (6) 医療等について

### <主な意見>

- ・福祉事務所でもらった小平市内に登録がある病院一覧（身体障害者手帳の診断書を書ける医師がいる病院一覧）にある病院に、リハビリで通院している。その病院で障がい者認定の申請で必要な医師からの診断書を書いてもらおうとしたが、入院したことがある患者のみが対象と断られた。これでは一覧に載せる意味がない。一覧に注意事項として書くなり、削除するべきではないか。診断書を書くための特別な条件があるのか、登録してある医師名と病院名のスクリーニングをしてみてもどうか。
- ・東京都以外の他県で診察した場合、病院によっては一時立て替で全額支払う場合がある。1ヶ月半位に立て替えた分は振込まれるが、その度に福祉事務所に書類を提出しなければならない。全国どこでも診察しても、立て替えはなしにしてほしい。
- ・手当、医療費助成に関しては、東京都（民）だけあって、他より充実しているのはありがたい。出身地（茨城県かすみがうら市）は税収が少ないこと、保守的なこともあり、特に手当等の補助は少ない。
- ・小平市内のある医療機関で障がいを理由に診療しないとされた。別の医療機関でもひどいことを言われ、医療機関にかかるのが怖い。
- ・夫婦の国民年金も少なく、これだけで生活していくのに不安。あと数年で夫のシルバ－の仕事職もなくなると思うので、増々大変さが身にしみる。現在、私の医療費が障がいによる補助を受けられるのだけが救い。

## (7) 相談等について

### <主な意見>

- ・定年退職して一人暮らしで、今後のことなどケアマネジャーに相談したいが、どこに申し込めばよいか分からない。
- ・右足の力がないので（左）の足がケガをしたら一歩も歩けなくなる。それがいつも心配でならない。今はなんとか歩いているが。車椅子になったらといつも頭から離れない。
- ・重症者、軽症の方、色々だが、細かく調査し、お互いに助け合う組織があればいいと思う。
- ・自立生活ができるか（住まいのこと）。病気がことが1番心配（目が不自由）。
- ・保険を利用したの補装具を作る際の手続きを、もう少し簡単にして欲しい。例えば最寄りの医療機関だけでできるようにして欲しい。

## (8) 余暇活動や社会参加、交流について

### <主な意見>

- ・通院以外の外出はほとんどなく、社会参加できていない。今後もこの状態が続くことは本人にとってどうなのかと思う。
- ・市のサービスの中に、高齢者のための筋力、体幹アップのトレーニングや、体謝が悪くなるので、コレステロール(LDL)を下げるための講習会等をセットで定期的に行ってほしい。そして、複数回の受講ができるようにしてほしい。

## (9) 地域生活や将来の暮らしについて

### <主な意見>

- ・問32-1、電車を利用する際、切符の障害者割引の精算がインターホン越しでしかできない時「障害者手帳を持っている」と声に出したくない。特に青梅街道駅や新小平駅。この手帳の名前が、自分にとってコンプレックスの1つになっている若者がいることを忘れないでほしい。インターホン越しの駅で降車する場合、私はこの割引制度を諦めている。
- ・親が高齢なため、親の体のことも考えながら一人で頑張ってくれている。毎日ヘルパーさんたちに助けをもらいながら、しっかり自分で生きて行こうと思っていることが伝わってくる。親としてずっと寄り添ってあげられないことに、とても申し訳ないと思うが、皆さんに助けをもらいながら、明るくずっと元気でいてほしい。ヘルパーの皆様は心より感謝している。
- ・私は甲状腺癌で、今は不自由なく2人で暮しているが、難病の息子が一人で暮らすのに不安を感じている。本人は家の中では自由だが、歩けなく、腕が自由に動かず、外出も一人ではできない。次男が隔週来てくれるが、私の死後が心配である。近くの施設に入所予約ができたらと思う。
- ・行政の窓口は平日昼間の利用が前提となっており、仕事に従事している場合は、相談や手続き上大きな制約となり利用できない。月に1回は土日に半日だけオープンしてもらおうと助かる。
- ・主人は71歳で、それ程生活していくために特に目だった支障はない。私も今年75歳になるため、今後、市の福祉政策のお世話になっていくものと思う。長男は先天性の身体障がい者のため施設に入所している(子どもは1人)。そのため将来に不安を持っている。

## (10) 防災、防犯等について

### <主な意見>

- ・災害時避難所の使い勝手の悪さがある。
- ・避難生活は団体の中では困難なので、何とか自宅で過ごすため、自宅に必要なものを届けてほしい。または、個別の部屋の用意をお願いしたい。
- ・今は入浴も排泄も何とかなっているが、夫より介護2の両親の方が大変。災害時には私一人で3人を支えなくてはならない。父は排泄が厳しくなり、1日2回ベットメイキングが必要でこれから先が心配。

## (11) 情報等について

### <主な意見>

- ・補装具の利用支援（補助）等、分かりやすい説明（イラスト等による）があれば助かる。
- ・高齢者、障がい者の立場・環境を考えてアンケートを作成して欲しい。
- ・各種の申請書類のWEBからのダウンロードや申請手続きの充実をしてほしい。
- ・アンケートはWEBによる回答がいいと思う。

## (12) 障がいへの理解や差別について

### <主な意見>

- ・内臓疾患のクローン病や発達障がいは、それに関する知識のない人から理解されにくいため困っている。上手く説明できる手段があると助かる。
- ・健常者の方々は、未だに（障がいについて）理解していない。（例）平気で自転車置き場でない列に止めている。
- ・現在障害5級のため、見た目や通常生活には支障がほとんどないが、通勤時のエレベーターの利用で学生の利用が非常に多く感じる。学校で、障がい者のために何をすべきかを教える必要があると思う。また、障がい者への理解度が社会的に低いのではないかと感じる言動があり、精神的にきついと思う（じろじろ見られる）。日本はまだ障がい者にやさしい国ではない。
- ・最近T i k T o kなどでも目にするが、手帳を持っているメリットなど、本来の目的ではなく、障がいだからと振りかざしているのに腹が立つ。本当に困っている人に（支援が）言ってほしい。
- ・障がい者の方が作った作品を市役所の玄関（入口）に見せているのは、とても良いことである。ルネこだいらにも展示している。

## 2 知的障がいのある方

---

### (1) 介助者への支援について

#### <主な意見>

- ・放課後等デイサービスでとても丁寧に見てもらえているのに、赤字となっているため補助してほしい。実際に行って見てどれだけ大切にしてくれているか見てほしい（環境を整える必要も見れば分かる）。
- ・支援・介助して下さる方（作業所の職員さんやガイドヘルパーさん、グループホームの職員さんなど）が、不足していることが大変心配である。このような方々の手当を増やして、もっと給料が受け取れると、もう少し改善されるのではないかと思う。

### (2) 交通やバリアフリー、移動支援について

#### <主な意見>

- ・移動支援を余暇だけではなく、学校や放課後等デイサービスの送迎に利用できるようにしてほしい。
- ・市内小学校の特別支援学級のスクールバスについて、小学校3年生までスクールバスの利用が可能となっているが、学区外の児童、通学困難な児童に対して適切な配慮をしてほしい。

### (3) 施設等の入所や利用について

#### <主な意見>

- ・現在通所している施設に入所ができれば嬉しい。
- ・現在は施設で息子がお世話になっており、入所して17年程たち、大変良くしてもらい感謝している。コロナ禍は面会や帰省が制限されたが、今までは月1回の面会や夏、冬の帰省などしてきた。まだしばらくは私どもも健康で本人を支えられると思う。
- ・作業所やグループホームもよく指導していただき、親も娘も満足している。親も高齢になり、感謝している。

### (4) 就労について

#### <主な意見>

- ・就職中の仕事内容や職場の人間関係を知ってほしい。

## (5) 福祉サービス等の利用について

### <主な意見>

- ・相談支援機関は当事者から相談を持ち掛けないかぎり、登録していても何も声かけ等対応がない。特に就労中であると定着支援の見守りや職場への訪問等がない。就職先が決定すると支援終了という感覚を感じる。障がい者本人からは言い出せないことが多く、精神的不安になっている。原因は支援者の人員不足で、サポート力が行き渡らない状況である。家族だけでは解決しないことが多い。
- ・障がいの重い人（一般論として知的に低い人や身体障がい者など）は、だいが支援が充実してきていると思う（サービスや金銭面なこと）が、ボーダーくらいの人や知的には軽い人への支援はまだ少ないように思う。健常でもなく、障がい者にも入れない。
- ・放課後デイサービスが市内に不足している。市内を利用したくても埋まっており、泣く泣く市外を利用している。何とか増やしてほしい。
- ・11歳の子どものショートステイの利用を考えているが、どこも空きがなく、5年待ちと言われている。私（介護者）の両親は80歳を超え、母は認知症である。自分の体調が悪い時に、娘を一時預ってもらえるところが必要である。

## (6) 就学、学校生活等について

### <主な意見>

- ・通学について、スクールバスをもっと充実させてほしい。天候が悪い日など、子どもを連れてバス停までの移動が長く、不安を感じる。

## (7) 医療等について

### <主な意見>

- ・医療機関も1ヶ所に集約したくても中々うまくできない。

## (8) 相談等について

### <主な意見>

- ・20、30年後には（親亡き後）後見人が必要。法人で行ってくれる団体（または入所の施設の中で）で本人の年金管理や日常的な衣類や医療面の支援などを受けられるようになると助かる。自治体で今後そういう制度、体制を考えることを強く希望する。

## (9) 余暇活動や社会参加、交流について

### <主な意見>

- ・中学生の時から利用している放課後等デイサービスの青年クラブの活動に参加している。とても楽しみにしている唯一の余暇活動だが、法律の改悪で放課後等デイサービスが潰れてしまいそうである。優良な施設がずっと続けられるようにしてほしい。本当にささやかな楽しみを取り上げないでほしい。

## (10) 地域生活や将来の暮らしについて

### <主な意見>

- ・ 将来に向けた経済面で不安が大きく、やるせない気持ちになる。今後どうしたらいいのだろうか。
- ・ プールの共通利用券を、夏だけでなく通年使えるようにしてほしい（枚数は20枚のままが良い）。他市であるように理容（美容）利用券を支給してほしい。
- ・ そのまま引きこもりになって、親が途方にくれているのが社会現象のように思う。要するに行き場所がない。安い賃金では自立もできず、親も高齢になり、不安を抱えている家庭が多い。
- ・ 不安定で今後も心配。
- ・ 生活介護に通所しているが、今後、ずっと生活介護で生活をしていくのだろうか。さらなる（生活介護からB型作業所への展望があると良い）希望というか、ずっとこのままである＝維持することも良いが、本人の努力や他者の支援で能力の向上を目指したいと考える。身近の自立を向上ができる施設があると良い。身だしなみや排泄が自立することで、将来に向けて本人も親も安心すると思う。

## (11) 情報等について

### <主な意見>

- ・ 障がいのことをあまり知らない。どういう制度があるのかが分からない。より分かりやすい障がいの制度を知りたい。
- ・ 手書きが得意じゃないので希望制でWEBによる回答をさせてほしい。

## (12) 障がいへの理解や差別について

### <主な意見>

- ・ 日常生活には家族の支援やサポートがないと成り立たない。金銭の手当もない発達障がいの人たちなどにも、手帳の発行や支援を充実させてほしい。（障がい）重くても軽くても、生活上の困りことは同じようにある。
- ・ 保育所等訪問支援に対する保育園の対応（反応）があまり良くない。知識・理解不足を感じるので、行政から指導をお願いしたい。障がい者と交流するイベントなどがあれば、差別や偏見が少なくなるかもしれない。



### 3 精神障がいのある方

#### (1) 介助者への支援について

##### <主な意見>

- ・介護をしてきた者だが、病の本態が分からず、あやふやの内に病人と生活してきた。最近やっと病人に対する見方・考え方が変わりつつある（少し遅すぎたが）。困っている人の支援をお願いしたい。

#### (2) 交通やバリアフリー、移動支援について

##### <主な意見>

- ・バスに乗る際（降りる際）毎回障害者手帳を提示するのが大変。パスモやスイカでタッチするだけで障害者割引ができるようになるとありがたい。
- ・市内の交通機関が身近にないので、コミュニティバスをオンデマンド式に、市内の買い物、病院に連れて行ってくれるサービスを無料で提供してもらえると助かる。
- ・歩いている時に後ろから接近してくる自転車にベルを鳴らされ、音に驚く。道路整備（安心して歩ける街）でもアイデアがあれば考えて欲しい。
- ・精神障がい（不安障害）であり、外に出る気はあるが、本人一人では難しい。うまく準備ができず、心身状態が悪化し、結局外に出られないことが多い。一緒に外出の準備をしてくれるヘルパーが必要だと何年も前からいろいろな機関に相談しているが、「小平市は精神につけられない」などと聞く。社会参加の機会を閉ざしているのではないか。

#### (3) 施設等の入所や利用について

##### <主な意見>

- ・短期入所の制度の捉え方に違和感を感じる。障がい者を支援する家族等の用事、休養が目的のようだが、障がい当事者の心身の安定のため、入院ではなく、早期に日常生活に戻るために利用するという目的で、制度を使っても良いと考えてもらいたい。

#### (4) 就労について

##### <主な意見>

- ・地域活動支援センターがハローワークのような存在というか、雇用元となり、仕事をそこに通うメンバーに提供する形にしてほしい。孫請けのような形。コミュニケーションにとっても不安があるので、2人組などで仕事ができれば少し楽に仕事ができるのではと思う。作業所の正社員は入っては辞め、求人しても入って来ないと聞く。一人の負担を複数人に分けられるように、障がい者でもできる仕事は積極的に給料（最低賃金）を出して雇用するのはどうかと思う。

- ・憲法の勤労の義務に反するので難しいかもしれないが、教育にお金を費して有能な人材を育成し、一般の会社で健常な人と同じように障がい者が働けば、結局は社会にプラスになるのではと思う。
- ・就労に向けての相談、サポートを充実させてもらいたい。
- ・自宅でできる仕事の情報がほしい。
- ・幸い私は正社員として就労できているが、収入が不安定だと症状の出方が強く出てしまうなど、自分と向き合う余裕がなくて、悪循環に陥ってしまうのではないかと思う。

## （５）福祉サービス等の利用について

### <主な意見>

- ・親が安心して子どもを育てられる福祉を望んでいる。
- ・福祉には概ね満足しているが、自分は病気が良くなりきらないので、上手く書けないが、医療と福祉の連携に力を入れて欲しい。

## （６）医療等について

### <主な意見>

- ・解離性障害の病状など、情報の普及、治療方法の拡大、治療場所の拡大を望む。

## （７）相談等について

### <主な意見>

- ・学校を卒業し、働きたい意欲はあるが、もっと指導や相談にのってくれる機関が小平市に増えて欲しい。支援してくれる場所があるというアピールが足りない。
- ・自宅の近くにも「地域生活支援センターあさやけ」のような所があるとありがたい。「あさやけ」は遠く、私は仕事もできないし、家族以外に親しくできる方が近くにあまりおらず、日により体調の良し悪しがあり、人と約束して会うことも難しいため、気楽に行ける所が欲しい。

## （８）余暇活動や社会参加、交流について

### <主な意見>

- ・現在、一人暮らしで生活している。これも皆さまのおかげと考えている。人の和（輪）を大事に支えてもらえている感がある。

## (9) 地域生活や将来の暮らしについて

### <主な意見>

- ・いつも見守りや支援をしてもらい感謝している。母の私も高齢になり不安を抱えながら、障がいのある娘を支援している現状がある。娘は仕事が好きで、生きているうち、できるうちは仕事を続けて生きてゆきたいと希望しているため、一人になっても頑張っしてほしいと思っている。
- ・現在は障害者年金を受給し始めたため、経済的な不安は少し解消してはいるが、いつまで継続できるのか不安は残る。今後、子どもを作る等の計画も進めて大丈夫かと判断できない状態が続いている。
- ・年々、社会復帰から遠のいているようで不安に感じる。

## (10) 生活支援、経済支援等について

### <主な意見>

- ・いじめにあわないため、大学の博士をとったり、資格をとって将来を楽しく過ごすためには経済面が不足している。
- ・精神障がい者への支援が少なく、限定的で困っている。特に金銭面で困っている。
- ・障害者手帳等を更新する際の診断書を費用が高額で、経済的な負担となっているため、他市のように助成制度があると助かる。

## (11) 情報等について

### <主な意見>

- ・ホームページ以外で情報を掲載しているところを知りたい。
- ・障害年金についての情報や支援金について、もっと詳しく知りたい。定期的なホームページの更新や障がい者に向けた発信、その家族への発信があればいいと思った。絵や図を使った説明があると分かりやすく感じる。

## (12) 障がいへの理解や差別について

### <主な意見>

- ・障がい者は人の手を借りることも多いが、希望を持って日々一所懸命生活していると思う。多様性を受け入れ合い、助け合える社会になってほしい。私自身はヘルプカードを身につけても利用できたことはなく、見た目は健康なのか、しんどいことがあまり人に分かってもらえない。
- ・2年前の朝突然歩けなくなり、右足が赤く腫れ、運ばれたが、病院の先生は、なぜ心療内科に通院しているのかを聞き続け、足を見ず治療も何もしなかった。1年以上経って骨折が分かり、それ以来普通に歩けなくなり、今も痛みで苦しんでいる。それ以来病院が怖く信じられなくなってしまった。

## 4 難病等の方

---

### (1) 交通やバリアフリー、移動支援について

#### <主な意見>

- ・小平でもタクシー券など出してもらえたらと願う。

### (2) 施設等の入所や利用について

#### <主な意見>

- ・難病患者が少額負担で安心して暮らせる施設をつくって欲しい。

### (3) 就労について

#### <主な意見>

- ・体のこともあり、事務系の仕事で可能であれば正社員（社会保険等に入りたい）になりたいが、なかなかうまくいかない。やむを得ず病院で派遣で働いていたが、業務の内容が変わって契約を切られた。社会保険の加入条件に満たなかったため、何の手当もなかった。福祉のみでなく、労働の分野でも将来の備えをしつつ、経済的自立を達成できるようにきちんとした制度ができて欲しい。

### (4) 福祉サービス等の利用について

#### <主な意見>

- ・福祉手当の増額を検討してもらえたら嬉しい。

### (5) 医療等について

#### <主な意見>

- ・今はまだ経済的に苦ではなく、市の援助金でおむつを買ったり、病院での負担に使わせてもらっている。
- ・約3年前難病を発症し、快方に向かって暮らしている。快方に向かうのは一番の望みであり嬉しいが、今回から難病の医療費助成から外れてしまった。快方に向かっても医療費はほぼ同額かかるので、今後の負担を考えると不安だ。

## (6) 生活支援、経済支援等について

### <主な意見>

- ・今後、経済力がなく、市の援助金では足りなくなるのではないかと今から不安になる。
- ・身体障がいがない難病、内部障がい者にも支援を広げてもらえると助かる。特に薬代が高く、経済的支援がもう少しあればといつも思う。
- ・腰の痛い時は友人の車で病院に連れて行ってもらっているが、数年後には介護が必要になる時が来るかもしれない。

## (7) 障がいへの理解や差別について

### <主な意見>

- ・難病が原因で次々と内臓、骨、皮フ等々新たな病気が広がり、だんだん日常生活ができなくなっている。障がいとは少し違うかもしれないが、治療法もなく、年と共に苦しい日々だ。
- ・見えているようで見えていない、見られていない部分なのではないか。少しずつでも健常者と一緒に生活できる社会になっていったら良いのではないかと思う。

## 5 発達障がいのある方

### (1) 交通やバリアフリー、移動支援について

#### <主な意見>

- ・放課後等デイサービスの施設の送迎をより充実させてほしい。

### (2) 就労について

#### <主な意見>

- ・就労継続支援A型がもっと増えたら良いと願っている。

### (3) 福祉サービス等の利用について

#### <主な意見>

- ・放課後等デイサービスの施設数、受入枠が少ない。そのため、選択肢が限られてしまう。療育は必要なので充実を希望する。就学してからの放課後や長期休暇の子どもの居場所が確保できない。
- ・一貫して相談できるところがない。その都度一から各機関に説明するが、相談内容も限られてしまう（療育をはじめたら病院に、学校に行きはじめたら学校になど。そこに関することは相談できるが、それ以外のことまでは相談しづらい）。
- ・今後変わっていくことを期待している。

### (4) 就学、学校生活等について

#### <主な意見>

- ・小学1年生1学期で学校からも指摘を受け、やっと診断が出て通級に行くようになったが不登校になった。
- ・学校では教員の研修をお願いしたい（人権、障害者差別解消法）。
- ・来年度から小学校の支援級に入学予定だが、安心して通えるか心配だ。もし不登校になったら、私（母親）がとてもきつい状態になると思うので、とても不安だ。
- ・発達障がい児への対応は個々に違うため、先生方の理解の充実を高め、正しい配慮をしてもらいたい。学校での配慮、こちらの要望を聞いてもらうのに親の労力が大きく、心の負担が大きい。専門性の高いソーシャルワーカーなどに中間に入ってもらい、配慮してほしい（なかなか配慮してくれず、子どもが二次障害で苦しんだので）。学校の先生に今までに例のないイレギュラーなことをお願いすると、検討もせずできないと断られる。教育委員会では無理なことではないと言われたがなぜなのか。
- ・発達に凹凸あり、小学校時代不登校になり、居場所がなかった。小学生向けの不登校サポートや居場所、何も情報がなかった。私も子どもも孤独で苦しかった。中学生になっても、みんなと同じことができなかった気持ち、淋しかった不安は消えない。

## (5) 相談等について

### <主な意見>

- ・自閉症があり、現在通級に通っているが、通級の利用は原則1年と聞いている。本人や家族がサポートを必要としていれば、高学年まで継続して見守って欲しい。また、通級は学習面のサポートはできないそうなので、現状個別塾や放課後等デイサービスを利用するしかないと聞いている。学校の放課後等をサポートしてくれるサービスができたら嬉しい。

## (6) 生活支援、経済支援等について

### <主な意見>

- ・子どもに障がいがあるかもしれないと分かってから市の支援等を受けてきたが、初めてのことばかりで分からないことだらけなので、市の職員がもう少し丁寧に教えてくれると、気持ちにも余裕が持てて助かると思う。

## (7) 情報等について

### <主な意見>

- ・相談できる医療機関が少ない、混んでいる。子どもの発達遅延に気がついて、相談できる場所が少ない。早く療育に通いたいのに、そこまでたどりつくまでに時間がかかる。待ちが長い。情報が少ない。発達グレーと言われている子の受け皿がほとんどなく、時間だけが過ぎていく。

## (8) 障がいへの理解や差別について

### <主な意見>

- ・目に見えない障がいだからこそしんどいなと思うことがよくある。どうしても、自分の育て方のせいなのではないかという思いが払拭できず、精神的に辛くなることが多い。
- ・発達障がいがあると親が思って相談に行くのに「様子を見ましょう」と幼児の時に言われ続け、適切な支援を受けられないまま小学生になった。居場所もなく、毎日をつまらなく過ごすことも多い。ちゃんと困っている子どもに支援が届くようにして欲しい。そして不登校の子の受け皿を増やして欲しい。